

# 1. アンモナイト鑑定セットの概要

## アンモナイト鑑定セット

1. フランス産のジュラ紀アンモナイト を整理し、アンモナイトの分類から産出地層の年代を推定するためのセットです。
2. 1ケースに以下の9属のうち、**ヒルドセラス**を含めた2属(2個体)が入っています。

### アンモナイト亜目

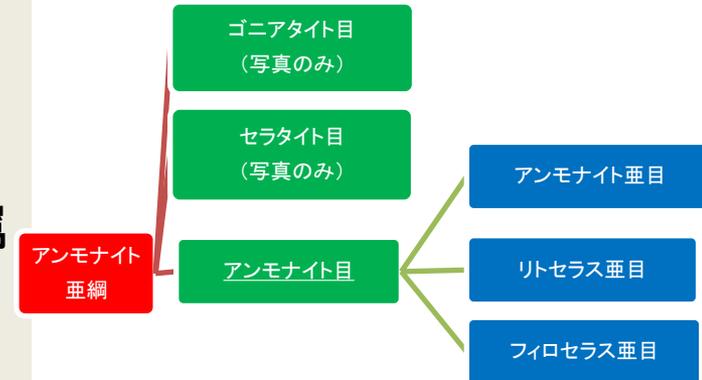
- ・**ヒルドセラス属**(*Hildceras* sp.)
- ・グラモセラス属(*Grammoceras* sp.)
- ・ダクティリオセラス属(*Dactyloceras* sp.)
- ・カタコエロセラス属(*Catacoeloceras* sp.)
- ・ハーポセラス属(*Harpoceras* sp.)

### リトセラス亜目

- ・リトセラス属(*Lyoceras* sp.)
- ・オウロコリトセラス属(*Alocolyoceras* sp.)

### フィロセラス亜目

- ・フィロセラス属(*Phylloceras* sp.)
- ・カリフィロセラス属(*Calliphylloceras* sp.)



# 2. アンモナイト類と分類群

\* 資料No.5と併せてご覧ください

- 一般に教科書で「中生代の示準化石」と紹介されるアンモナイトは、**アンモナイト目**のものです。
- 本セット内には**アンモナイト目**の中の**3亜目** (**アンモナイト・リトセラス・フィロセラス**)の実物化石が入っています。
- 配布用資料では便宜上、**目・亜目**の区別なしに「～のなかま」としています。
- アンモナイト図鑑には、**アンモナイト亜綱**の中の他のグループ、古生代に生きていた**アゴニアタイト目**、**クリメニア目**、**ゴニアタイト目**、**セラタイト目**の写真を載せましたが、実物化石は入っていません。(入っているのはフランス産の中生代ジュラ紀の**アンモナイト目**です。)

<ご注意下さい！>

以下にあげる判断基準や特徴については、セット内の個体を見分ける際の分かりやすさを優先したものであるため、専門的な基準とは一部に相違があることをご了解ください。

## アンモナイトの判断基準

### ①表面の模様

- ・目立たない
- ・筋状の盛り上がり→肋(直線・S字)
- ・筋状のくぼみ→くびれ

### ②殻の巻き方

( きつい ⇔ ゆるい )  
[中心が見えない] [中心が見える]



例: フィロセラス



例: カタコエロセラス

### ③環の断面

(縦長楕円 ⇔ 円 ⇔ 横長楕円)



例: フィロセラス



例: ダクティリオセラス



例: カタコエロセラス

# 3. アンモナイト図鑑①

アゴニアタイトの  
なかま

**セット内に  
実物なし**

- ①U字を繰り返すような模様
- ②とても密に巻く
- ③全体として球形に近い

クリメニアのなかま

**セット内に  
実物なし**

- ①模様が巻の途中で中心側に凹む
- ②中間的な巻き
- ③縦長楕円

セラタイトのなかま

**セット内に実物なし**

- ①単純で細かな曲線
- ②中間的な巻き
- ③2つとも縦長楕円

セラタイト.  
エボルタス

セラタイト.  
セサブラエビガタス

ゴニアタイトのなかま

**セット内に実物なし**

- ①単純で大きな曲線
- ②とても密に巻く
- ③全体として楕円に近い

トルノセラス

プリノセラス

フィロセラスのなかま

- ①模様は目立たない(細かい葉状の模様が見えることも)
- ②きつい(密巻き)
- ③縦長楕円

フィロセラス

- ①模様はフィロセラス似 S字状のくびれ
- ②きつい(密巻き)
- ③縦長楕円

カリフィロセラス

# 4. アンモナイト図鑑②

## アンモナイトのなかま



- ①中心から直線肋
- ②ゆるい(ゆる巻き)
- ③円に近い

ダクティリオセラス



- ①中心から直線肋
- ②ゆるい(ゆる巻き)
- ③横長の楕円

カタコエロセラス



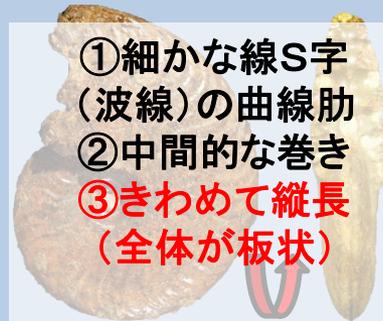
- ①溝状のへこみ  
・溝から外へ曲線肋
- ②中間的な巻き
- ③やや縦長楕円

ヒルドセラス



- ① S字(波線)の  
曲線肋
- ②中間的な巻き
- ③やや縦長楕円

グラモセラス



- ①細かな線S字  
(波線)の曲線肋
- ②中間的な巻き
- ③きわめて縦長  
(全体が板状)

ハーポセラス

## リトセラスのなかま



- ①模様は目立たない  
(細かな線)
- ②中間的な巻き
- ③円に近い

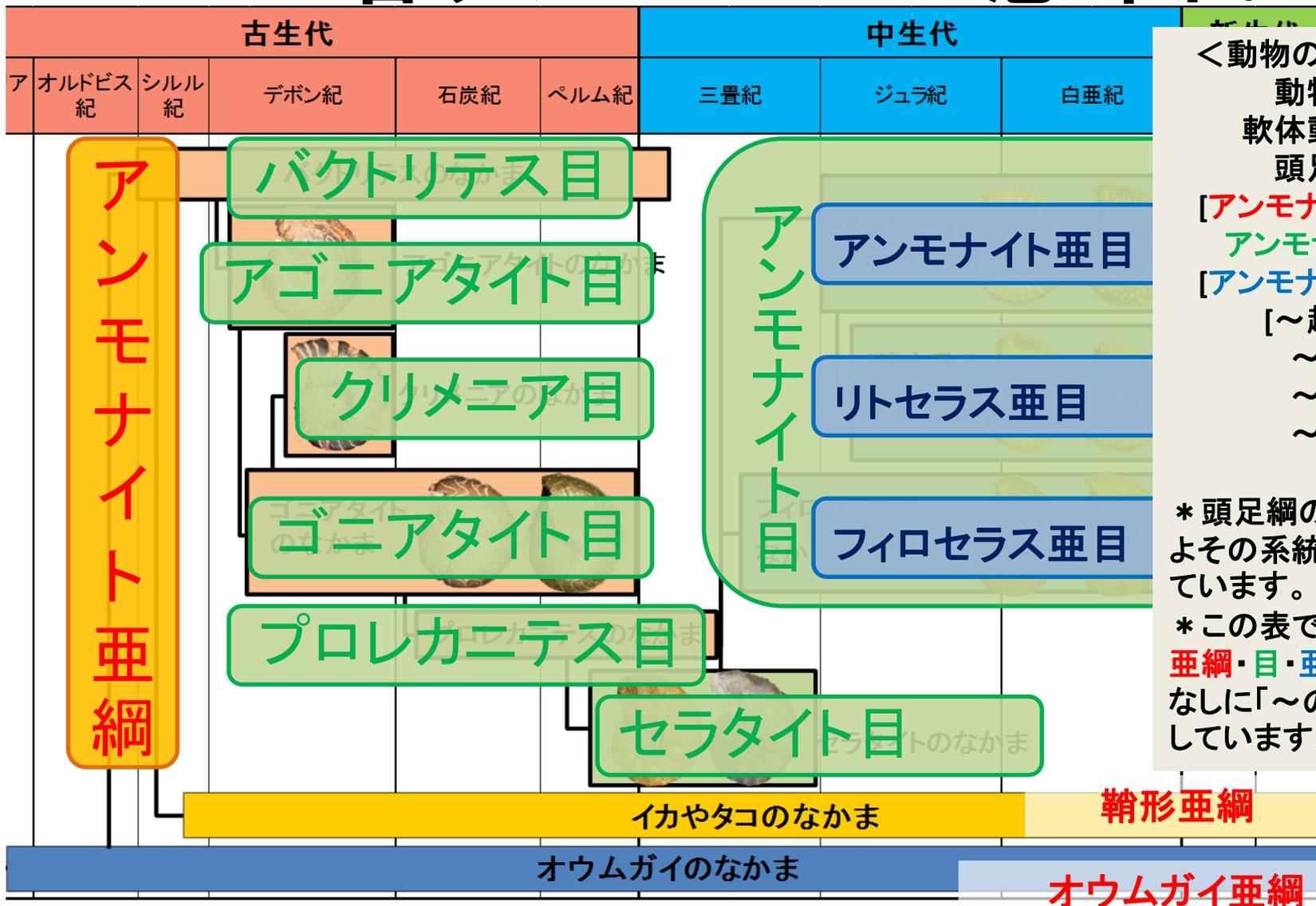
リトセラス



- ①細かな線が多数  
直線状のくびれ数本
- ②中間的な巻き
- ③円に近い

オウロコリトセラス

# 5. 各グループの生息年代

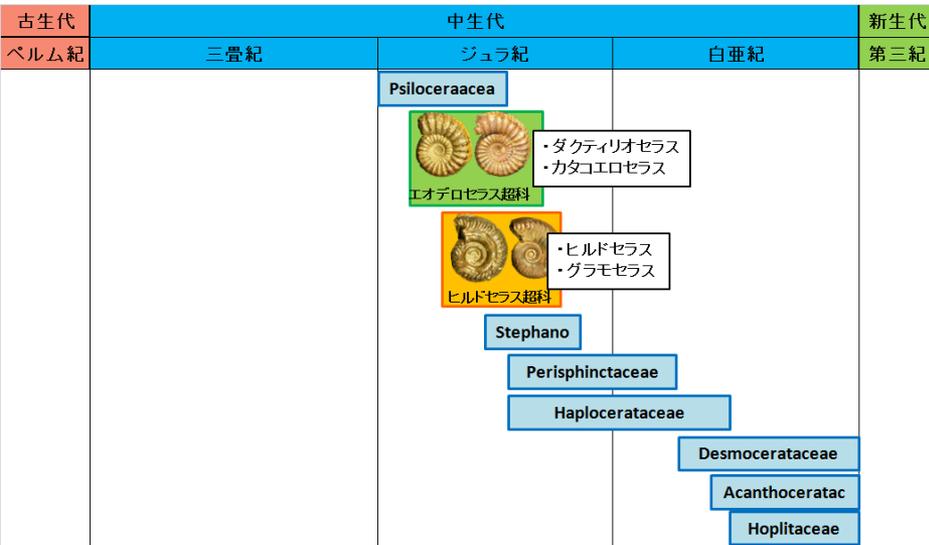


＜動物の分類例＞  
 動物界  
 軟体動物門  
 頭足綱  
 [アンモナイト亜綱]  
 アンモナイト目  
 [アンモナイト亜目]  
 [～超科]  
 ～科  
 ～属  
 ～種

\* 頭足綱の中のおおよその系統関係を表しています。  
 \* この表では便宜上、亜綱・目・亜目の区別なしに「～のなかま」としています。

# 補足資料：ジュラ紀か白亜紀か決まらないのか？

示準化石は地層の時代を決める目安＝定規と同じ。  
 単位を細かく(小さく)すれば、より細かく(小さな幅で)測れる。  
 例) M → cm → mm  
 亜目 → 超科(科) → 属



さらに細かく「超科」では、  
 中生代の中でも**ジュラ紀**

もっと細かく「属」では  
**ジュラ紀の「前期・トアルシアン階」**  
 (1億8300～1億7400万年前)